

記者発表資料
令和5年6月28日

所 属	大垣市市民活動部まちづくり推進課
担 当	課長：宮内 主幹：平野
連絡先	0584-47-8546

市ホームページへの「やさしい日本語」自動変換サービス導入について

1 趣 旨

本市には令和5年5月末現在、44か国、5,904人の外国人市民が住んでいる。

こうした方々の窓口での手続きや相談に対応するため、従来から31言語に対応した通訳機能を備えたタブレットを窓口に配置しているほか、メールやSNSを通じて外国語で情報発信するなど、外国人市民への情報提供にも努めている。

これらの取り組みに加えて、外国人市民の方々に市からの情報をより分かりやすく伝えるため、市ホームページの文章を、外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」に自動変換するサービスを導入し、誰もが安心して暮らせる多文化共生社会の推進を図るもの。

2 「やさしい日本語」とは

簡単で分かりやすい言葉を用いて、外国人や子どもなど、難しい文章が苦手な人々にも分かりやすくした日本語のこと。

1995年の阪神淡路大震災で、多くの外国人に緊急情報や生活情報が適切に伝わらなかったことから、やさしい日本語の重要性が認識されるようになった。

3 サービスの概要

(1) サービス名称

伝えるウェブ（アルファサード株式会社）

(2) 機 能

ホームページの文章を、AIが自動的に「やさしい日本語」に書き換えて表示。

- ・すべての漢字に振り仮名を付ける
- ・文節ごとにスペースを入れる
- ・難しい言葉は言い換え、又は意味の解説を付ける

(3) 使用方法

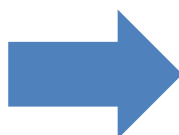
① パソコンの場合

市ホームページの上部にある「やさしい日本語」ボタンを押す。



② スマートフォンの場合

市ホームページの右上にある「メニュー」を押し、その中にある「やさしい日本語」を押す。



(4) 変換例

① 元の文章

大垣市では、日本人と外国人が、お互いに民族、国籍、文化などの多様性を認めあいながら、地域で共に生活する「多文化共生社会」を目指して、「大垣市多文化共生推進会議」を開催しています。

会議では、多文化共生に関連する分野を代表する方々や公募市民の方々が委員となって、「大垣市多文化共生推進指針」の進捗状況や、市の多文化共生施策について、議論やご提案をいただいています。

② 変換後の文章

大垣市では、日本人と外国人の人が、お互いに民族、国籍(どの国の人か)、文化などの多様性を認めあいながら、地域でいっしょに「多文化共生社会」をめざして、「大垣市多文化共生推進会議」を行なっています。多様性とは、いろいろな種類のものがあることです。

会議では、多文化共生に関係する分野を代表する方々や募集市民の人たちが委員となって、「大垣市多文化共生推進指針」の進みぐあいや、市の多文化共生やりかたについて、話し合いや提案をもっています。多文化共生とはさまざまな国の人がいっしょに生活することです。

4 導入時期

令和5年6月1日から（導入済）

5 （参考）本市在住外国人市民の国籍別内訳（令和5年5月末現在）

国籍	人口
ブラジル	2,263人
中国	1,097
ベトナム	729
フィリピン	606
韓国・朝鮮	267
ネパール	213
ペルー	143
インドネシア	135
その他	451
合計	5,904